

財団法人 8020 推進財団 平成25年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録	
1. 事業名	: 子どもの口腔の健康から 健康な地域づくり II
2. 申請者名	: 公益財団法人ライオン歯科衛生研究所 藤重貞慶
3. 実施組織	: 公益財団法人ライオン歯科衛生研究所 八重山地区歯科医師会 石垣市教育委員会 八重山地区養護教諭研究会
4. 事業概要	<p>沖縄県石垣市で、健康や生活習慣に関わる地域の状況や課題にあわせて「小学生を中心とした子どもの歯と口の健康づくり」の取り組みを推進し、口腔の健康に対する学校・家庭の意識の向上をはかり、健康な地域づくりにつなげることを目的に事業を展開することとした。</p> <p>昨年度は、学校で子どもたちの健康に携わる養護教諭とつながりを持ち、「学校での取り組みについての現状把握」、および「養護教諭に対する情報と教材の提供」について石垣市教育委員会と連携し事業を推進した。今年度は、子ども（小・中学生）の自宅等での生活習慣およびその保護者についての現状の把握と課題を抽出し、それを地域関係者（学校歯科医、養護教諭、教育委員会等）で共有化することに重点をおき、本事業を継続推進することとした。</p>
5. 事業の内容：	<p>沖縄県石垣市で、「小学生を中心とした子どもの歯と口の健康づくり」の取り組みを推進し、活動を通して、口腔の健康に対する学校・家庭の意識の向上をはかり、健康な地域づくりにつなげることを目的に事業を展開することとした。今年度は、「小・中学生とその保護者の現状把握について」および「子ども（小・中学生）の健康に携わる関係者との共有化」について、以下の通り事業を推進した。</p> <p>1. 小・中学生と保護者の現状を把握するためにアンケートを実施し、市内小学校16校、中学校5校、小中併設校4校から回答を得た。その結果、「朝食時の甘い飲み物の摂取」について約40%の小・中学生が飲んでいて、また夕食時では約20%の小・中学生が甘い飲み物を飲んでいて、食後の歯みがきについては、昼食後に毎日みがくとの回答は小学1年で73.6%と一番高く、小学4年で60.1%、中学1年で40.6%であった。</p> <p>2. 「小・中学校の養護教諭」と「学校歯科医」とアンケート調査結果を共有化するために、市内の小中学校の養護教諭に対し、アンケート調査結果について報告し、明海大学学長 安井利一先生より解説をいただいた。その結果から養護教諭から上がってきた課題に、子どもでは「歯みがき習慣が身につけていない」、「甘い飲み物のとり方を含めた生活習慣の乱れ」、保護者では、「子どもの歯と口に対する関心が低い」、学校では「歯みがきの時間は設定しているがみがいていない」などがあがった。学校歯科医では、アンケート調査結果の課題を取り組んでいく上では、「学校関係者に正しい知識を持ってもらうことが重要」とあり、そのためには学校歯科医は全面的に協力いただけるとあった。</p> <p>今後は、今回実施したアンケート調査結果を更に解析し、そこから課題を抽出し、課題に対する手立てを具体的に決め、教育委員会・学校歯科医会・養護教諭とともに平成26年度以降も本事業を継続して推進していくこととした。</p>
6. 実施後の評価（今後の課題）：	<p>1. 養護教諭、学校歯科医以外の「子ども（小・中学生）の健康に携わる関係者」との連携</p> <p>2. 課題に対する手立ての具体化</p> <p>3. 子どもの生活の場である家庭、特に保護者には歯と口の健康への関心度を高めるアプローチ方法</p>